

冬場の火災発生に注意しましょう

柏市内では旧年中、例年以上に消防・救急隊の出動¹がありました。冬季は、空気の乾燥とともに暖房施設など火を使う機会が多くなり、火災発生の危険度が高まります。気象状況によって、風が強ければ、火災の延焼のリスクも高まりますので、是非警戒を怠らない、火を使う機器の取り扱い、高齢者単独世帯への注意喚起を、改めてお願いします。

特に注意願いたいポイントを5つ、以下に紹介します。

その①:コンセントのホコリをこまめに取り除きましょう

コンセント周辺、特に家具の裏側で普段なかなか掃除しにくいところにたまったほこりに湿気が付着し、電気が流れて出火する危険性が高まります。

普段あまり使用しない家電品は、プラグを抜いておくこともおすすめします。



その②:電気コードの損傷も危ない～重量物の下敷きになっていませんか？



家具等で配線コードを踏みつけることで、コードが断線し、その部分から発火の恐れがあります。家具等の下敷きにしないこと、コードの断線や損傷は、すぐに専用テープなどで修繕をしておきましょう。

¹ 柏メール配信サービスでの消防署からの通報は昨年7月からの約半年(12/29迄)で計91回の出動要請がありました。

その③:コンロ周辺のモノを置いていませんか？



台所のガスコンロ周辺のモノには引火する危険性が高いので、整理整頓に努めましょう。コンロや周辺の油汚れが原因での出火も油断禁物です。

台所からすぐに手の届く場所に消火用の備品を設置しておきましょう。

その④:住宅用火災警報器は正常に働きますか？

電池式の火災警報装置は十年で交換が目安とされています。いざという時を想定し、警報装置が反応するように点検をお願いします。切れている場合は業者に連絡し交換しておきましょう。また機器にホコリや汚れが付着している場合、正しく作動しない場合もあるので、掃除もしておきましょう。設置の機器によって点検の方法は異なるので、取扱説明書をご確認ください(ネット検索で操作方法が分かる機種もあるので、一度メーカーのネットサイトで確認してみましょう)。



その⑤:家屋周辺に燃えやすいものは置いていませんか？



家屋周辺に古新聞紙、段ボール等の燃えやすいモノが置いてある、ゴミを置きっぱなしにしておくことで、不慮の出火、放火、煙草の火の不始末での火災に巻き込まれることも想定されます。燃えやすい品物は、できるだけ置きっぱなしにはせず、ゴミ収集の機会に正しく分別して処分をしましょう。

火災予防で健全なマチ並みをめざしましょう